

〔肝・胆・膵内科〕

研修の特徴と内容

【特徴】

肝胆膵疾患の臓器の特性を理解でき、これら疾患の機能検査法の基礎と診断的意義、病理組織像、画像診断と病理形態との関連性について学べる。慢性肝疾患におけるインターフェロン治療や抗ウイルス療法、肝胆膵疾患に必要とされる腹部超音波やCT、MRIの読影、腹部超音波検査法や内視鏡検査の基礎的技術を習得でき、肝生検、ラジオ波凝固療法（RFA）、内視鏡的食道静脈瘤結紮術や硬化療法（EVL、EIS）、内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）などを経験できる。

【内容】

① 一般目標（GIO）

患者を全人的に診療できる素養と技能を有する医師となるために、消化器内科領域、特に肝臓、胆道系及び膵臓の臓器特性を理解し、肝・胆・膵疾患の診断法及び治療法を修得すると共に内科医師としての基本的な診療能力を修得する。

② 行動目標（SBO）

1. 肝胆膵内科のチームの一員として診療にあたることができる。（態度）
2. 患者本人及び家族に対して分かりやすく病状説明することができる。（態度）
3. 慢性肝炎の鑑別診断ができる。（解釈）
4. 肝硬変の鑑別診断及び重症度分類ができる。（解釈）
5. 肝細胞癌の診断ができる。（解釈）
6. 自己免疫性肝疾患の鑑別診断ができる。（解釈）
7. B型慢性肝炎の治療計画を立案できる。（問題解決）
8. C型慢性肝炎の治療計画を立案できる。（問題解決）
9. 肝癌の治療選択ができる。（問題解決）
10. 肝硬変の栄養管理ができる。（技能）
11. 肝細胞癌の治療（RFA、TACE）の介助ができる。（技能）
12. 肝生検の適応を決定できる。（問題解決）
13. 経口抗ウイルス剤の特徴に基づいた使い分けができる。（解釈）
14. 経口抗ウイルス剤の効果と副作用について説明できる。（知識）
15. インターフェロン製剤の効果と副作用について説明できる。（知識）
16. 腹水の診断と治療ができる。（解釈・技能）
17. 肝性脳症の診断と治療ができる。（解釈・技能）
18. 分枝鎖アミノ酸製剤の効果と副作用について説明できる。（知識）
19. 食道胃静脈瘤を診断できる。（解釈）
20. 上部消化管内視鏡検査を介助できる。（技能）
21. 下部消化管内視鏡検査を介助できる。（技能）
22. 食道胃静脈瘤の治療（EVL、EIS）を介助できる。（技能）
23. 閉塞性黄疸の鑑別診断ができる。（解釈）
24. 閉塞性黄疸の治療（ENBD、ERBD、EST、PTCD）の介助ができる。（技能）
25. 膵・胆道癌の診断ができる。（解釈）

26. 膵・胆道癌の治療計画を立案することができる。(問題解決)
27. 肝臓・胆のうの超音波検査を行うことができる。(技能)
28. 採血・点滴・静脈ルート確保等、基本的な診断・治療手技を実施することができる。
(技能)
29. 病態に応じた抗生物質の選択ができる。(問題解決)
30. 入院患者の栄養管理を適切に実施できる。(技能)

③ 研修内容 (方略) (L S)

L S 1 : On the job training (O J T)

1. 1年次は指導医及び上級医とチームを組み、指導医・上級医の指導のもと、診療に参加する。適宜、臨床実習学生も指導する。
2. 2年次は、指導医・上級医の指導のもと診療に参加するとともに、1年次の研修医がある場合は、上級医として1年次の研修医を指導する。適宜、臨床実習学生を指導する。
3. 毎日、受持患者の廻診を行うとともに、グループの廻診、及び診療科の廻診に参加する。

L S 2 : 腹部超音波検査

指導医・上級医の指導のもと、受持患者の腹部超音波検査を行うとともに、造影超音波検査にも参加する。

L S 3 : 内視鏡検査

上部内視鏡検査、下部内視鏡検査及び内視鏡的治療に参加する。

L S 4 : 肝癌の治療に参加する。(R F A、T A C E、化学療法)

L S 5 : 勉強会・カンファレンスへの参加

1. 肝胆膵カンファレンス

受持患者の症例提示と診断治療の検討を行う。

2. 3科合同症例検討会

Cancer boardとして肝胆膵内科・肝胆膵外科・放射線科で検討を行う。

3. 腹部超音波カンファレンス

腹部超音波を行った症例の画像チェック及び治療前後の検討を行う。

4. 内科医局合同カンファレンス

内科全体の合同の症例報告、講義に参加する。

④ 教育に関する行事 週間スケジュール (別紙)

1. 月 13:30~17:30 肝胆膵カンファレンス 総回診 肝胆膵グループ抄読会
2. 月 17:30~ 内科合同カンファレンス (第2、4週)
症例報告 (病理検討会を含む)
各専門科における講義
3. 火 18:30~ 腹部超音波カンファレンス
4. 木 17:30~18:30 肝胆膵内科・肝胆膵外科・放射線科、3科合同の症例検討会

⑤ 研修評価

1. 自己評価

E P O Cを入力する。

2. 指導医による評価

E P O Cへの入力状況、診療チームでの勤務状況を用いて評価する。

3. 看護師による評価

E P O Cを用いて、看護師からの評価を行う。

4. 研修内容の評価

研修医による肝胆膵内科の評価についてE P O Cを用いて行う。

指導医等

主任教授：西口 修平	教授：飯島 尋子	准教授：榎本 平之
講師：岩田 恵典	講師：西村 貴士	助教：池田 直人
助教：會澤 信弘	助教：坂井 良行	助教：高嶋 智之
助教：石井 昭生	助教：高田 亮	
講師：西川 浩樹（出向中）		

研修実施責任者

准教授：榎本 平之

肝・胆・膵内科 週間予定表

	午 前	午 後	症例検討会	備 考
月	超音波検査(肝・胆・膵) 内視鏡検査(上部) 病棟業務	13:30~16:30 肝胆膵カンファレンス 病棟回診 病棟業務 内視鏡治療(静脈瘤・胆膵系・ポリペク)	16:30~ 肝胆膵科医局会 17:30~ 内科合同カンファレンス (第2、4週)	
火	超音波検査(肝・胆・膵) RFA 病棟業務	超音波検査(造影) 肝生検 病棟業務	18:30~ 腹部超音波カンファレンス	
水	超音波検査(肝・胆・膵) 内視鏡検査(上部) 病棟業務	内視鏡検査(上部) 病棟業務		
木	超音波検査(肝・胆・膵) RFA 内視鏡治療(静脈瘤・胆膵系) 病棟業務	超音波検査(造影) RFA 内視鏡治療(静脈瘤・胆膵系・ポリペク) 病棟業務	16:30~ 内視鏡カンファレンス	
金	超音波検査(肝・胆・膵) 病棟業務	超音波検査(造影) 肝生検 内視鏡検査(上部・下部) 病棟業務		
土	内視鏡検査(上部) 病棟業務			